

豊田商工会議所
渡辺委員 参考資料

新産マネジメント事業

平成18年11月10日
豊田商工会議所

1. 豊田市からの受託事業

2. 平成15年度から始まり18年度で4年目

3. 事業目的

市の産業振興策の一つで、
・どこにもない技術、どこにもない商品、どこにもないサービスを考案する開発意欲のある企業（オンリーワン企業）の育成、創出。開発案件に対して審査し、市から補助金制度あり。

4. 事業の進め方

- 1) 経営支援コーディネーター、技術支援コーディネーターが主に豊田商工会議所会員の中小企業を訪問し、技術開発に関する相談の対応のほか、経営各分野における助言、指導や（技術研究所等の）紹介活動を無料で行う。
(注) 経営支援コーディネーター：主に人材マッチング事業におけるアドバイザーから選出。
技術支援コーディネーター：JSK（主にトヨタ技術員のOB）の中の一部の者
- 2) セミナーの開催（主に製造業の製造・技術などの知識教育とし：無料
- 3) 経営・技術コーディネーターの研鑽のため大学、研究所、技術センターなどの見学・視察

5. 活動と実績 《17年度》

1)【企業訪問・支援活動】

技術コーディネーター(6名)企業訪問	212件	延べ訪問数	591回
経営コーディネーター(4名)企業訪問	647件	延べ訪問数	869回

2)【セミナー開催】

(テーマ)	講師：JSKメンバーほか	(回数)
・機械図面実務		3回
・トヨタにおけるTQM活動の実践		1回
・特許情報活用		1回
・コア技術による新事業展開		1回
・ものづくりは人づくり		1回
・IT技術と製造技術の融合による中小製造業のものづくり力向上		1回

《18年度(4月～10月)》

1)【企業訪問・支援活動】

技術コーディネーター(6名)企業訪問	70件	延べ訪問数	101回
経営コーディネーター(4名)企業訪問	281件	延べ訪問数	511回

2)【セミナー開催】 講師：JSKメンバー

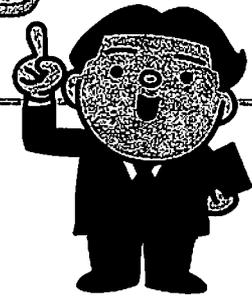
6月から19年3月まで毎月1回セミナー(2H)を開催。		
(月)	(テーマ)	
6月	なぜトヨタは変わり続けられるか！	(実施済)
7月	管理者のマネジメント「質向上」による職場力強化	同上
8月	(1部)現場管理監督者のリーダーシップ	同上
	(2部)生産の品質向上・改善のコツ	同上
9月	トヨタ生産方式について	同上
10月	現代若者の就職観	同上
11月	生産における設備設計の基本	(今後実施)
12月	(1部)モノづくりの真の品質管理とは	同上
	(2部)生産職場における改善	同上
1月	将来に夢と希望もてる技術創造立国日本への展望と ～永遠のエネルギーである太陽が日本の技術で出現か～	同上
2月	(1部)新聞で読む燃料電池車の開発 ～初歩の燃料電池学～	同上
	(2部)コンピューターシミュレーションの使い方	同上
3月	トヨタの改善に観る「絶えまざる改善魂」	同上

経営者は5年先、7年先を考えるとされています。

豊田商工会議所は

新たな「ものづくり」に

チャレンジする企業を応援します



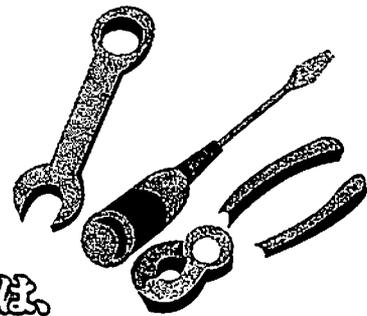
今、世の中は、世界的な戦略により、商品開発のスピードアップ、原価低減、部品等の世界最適調達、リサイクル、環境など、大きな変革を迎えています。

もし、燃料電池車の開発が早期に実現したら、化石燃料に関わる既存の工場や設備や技術はどうなるのでしょうか…。それもそれほど遠い話ではありません。そのためにも、中小企業にとって常に新技術、新製品開発に向けた努力はさけては通れません。

豊田商工会議所では

- (1) どこにもない技術、どこにもない商品、どこにもないサービスを考案する、開発意欲のある企業を育成するために、技術支援コーディネーターを無償で派遣し、ご相談にのる事業を進めています。
- (2) 新産業、新製品に直接関係なくても、長期的に見て新技術開発につながる相談も受けています。

たとえば、生産性向上の改善、コスト低減、後継者の育成、管理者・従業員育成など、何でもお気軽にご相談ください。



いま、企業経営者に求められているのは、やってみようという志(こころざし)です。

〈お問い合わせ先〉 豊田商工会議所 産業振興部 新産業マネジメント事業担当
電話 0565-32-4594 FAX 0565-34-1777
eメール toyonet@toyota.or.jp または sien@toyota.or.jp
ホームページ <http://www.hm2.aitai.ne.jp/~tyo0001/>

JSKのホームページへよくお越し下さいました。

JSK (次世代の新技术、新商品を創造する会) [ノウハウ、技術の支援団体]



かん蛙



戦後の経済発展を支えてきたおじさん達、今続々と定年を迎えています。物造り一筋に3・40年、「こつこつ積み上げた知恵、腕も家庭に入ればただの、、、」これでは本人は勿論のこと社会的にも如何なものか、、、。

せめて「楽しみながらアイデア創って、物を造って自分が嬉しく！他人が喜ぶ！」こんないい事出来ないかと同好の士相集い「JSK」(次世代の新技术、新商品を創造する会)なる会立ち上げた。まず遊びは形から入れとばかりに会則づくりに取り掛かった。以下に活動状況逐次アップしていきます。ご覧下さい。

** 目次 **

- JSKの理念と主旨
- JSKの活動方針
- JSKのメンバー紹介
- JSKのアイデア・発明品展示室紹介
- JSKの活動状況紹介< I > [2000・2001・2002年]
- JSKの活動状況紹介< II > [2003年] * [2004年]
- 炭焼き体験講習会
- JSK作品展示会 [2002年] * [2003年] * [2004/3] * [2004/11]
- JSK講演会実績(2003年～) new !!

** * JSKの理念と主旨 * * *

戦後、日本が世界のどこにも例を見ない飛躍的な発展を遂げてきた要因の一つに「品質の良い物造り」が挙げられる。その物造りを中心になって支え、現場の第1線で創意工夫し、腕を磨き、改善してきた人々が今続々と現役を引退し、職場を離れて家庭で、、、。

又第2の職場で歳を理由に持てる技能とミスマッチの仕事にあまんじている人々も、、、。これらの人達が蓄積してきた知恵と腕(知識・技術・技能・ノウハウ・情報等)を活かし、楽しみながら創造活動を続ける場はないものか、社会貢献出来る喜びを分かち合える場はないものかと話し合ったその結果、まずは近くの人達で気軽に集まれる会を作ってみようかと話がまとまった。

そこで会の理念、主旨を「知恵と腕を使って、楽しみながらアイデアを創造し、社会、企業、個人皆にこれを使って貰うことで第2の人生としても社会参加、社会貢献し続ける。」

又この会は、「高齢者が何時までも遊び心、子供心を持ちつづけ自由な発想で持てる能力をフル発揮し、次世代につなげる新技术・新商品を生み出す。」の2点とした。

人は歳とともに肉体的な衰えは避けられない。しかし考えて物を創ることは何歳になってもやる気さえあれば出来る。個人が持っている「技術・技能・ノウハウ・情報」を集結して自称「燃える人財集団」がここに(次世代の新技术・新商品を創造する会)略称「JSK」を立ち上げ

た。

* * * JSKの活動方針 * * *

かん蛙



1. この会は、アイデアの発想、発明、物造りを趣味として楽しむ為に話し合いの場(寄り合い)をつくり、メンバーの「夢と生きがいと健康増進」のために役立てる。
2. この会を通じて「便利で、楽しく愉快な世の中創り」に参加することで、社会の発展に貢献する。
3. この会を通じて、メンバー相互のふれあいと親睦の場にする。
4. この会の活動は原則として、ボランティアとし、営利目的としては行わない。
5. この会は、基本的には金銭面での投資、出資は行わない。
6. この会から生まれたアイデア、発明品は積極的に外部へ開示し「形」として世の中に提供していく。
7. 活動において、ノルマ、強制は一切無いものとする。

* * * JSK のメンバー紹介 * * *

メンバーは

A.定年退職者

B.現役引退者

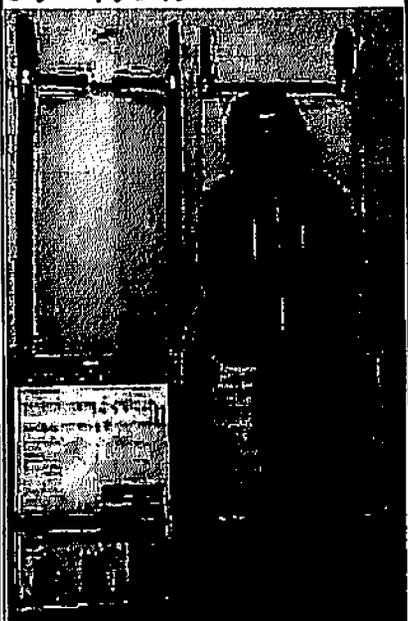
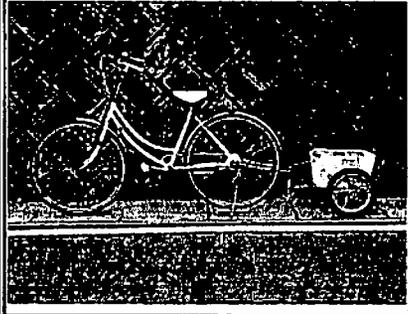
C.55歳以上者

で新技術、新商品のアイデア出し、発想、発明を純粋に楽しみ、今でも物創り、物造りに興味を持ち続けている面々の集まりです。

氏名	誕生年	業務経歴	趣味・特技
M. T	1938年	メンバーの業務経歴を一括集約して表すと 1. 自動車部品生産用設備、型、電気設計等とその 工程整備等工場計画から立上げ迄の業務全般 2. 生産管理、品質管理、不良対策及び工程改善等 3. 国内海外生産管理、国内エンジ会社工場管理等 4. 各種センサ及びメータ開発、部品会社工場管理等 5. 経営企画等 物創り、物造りが主な業務経歴です	自転車
Y. H	1947年		影の作家
T. K	1942年		温泉巡り
S. U	1940年		日曜大工・ゴルフ
Y. H	1937年		日曜大工・鉄道模型
H. S	1942年		日曜大工・炭焼
M. K	1939年		ゴルフ・釣り
S. H	1940年		ゴルフ・造園
Y. K	1943年		将棋・日曜大工

	年	
A. S	1940年	ゴルフ・旅行
H. H	1941年	ゴルフ

*JSK のアイデア・発明品展示室紹介 *

NO	名称	アイデア(発明)の内容
1	3ウェイタンカ 	<ul style="list-style-type: none"> 超軽量カーボンシャフト製折りたたみ式担架 JSKは折りたたみジョイント部のアイデア出しから製品化までを担当 基本特許及び製作権は(株)M社
2	小型移動式らくらくリフト	室内での物の上げ下ろしや運搬用に使う軽量小型リフト
3	風呂水節水ボール	カラフルなプラスチックボールで風呂水節水
4	通勤グッズハンガー	定期券、めがね、時計、携帯等通勤必携品の忘れ防止ハンガー
5	財布式多色マーカペン	多色マーカを1本にして持ち運びを簡単にした
new 6	ママチャリリヤーカー 	<ul style="list-style-type: none"> 荷台にも牽引車にもなるカートの開発 日常の買い物、ゴミだしや震災時の荷物運搬等にも使用可 特許出願中 第56回(H14/11)発明とくふう展入賞

注)

1. 以後の作品展示はこちら
2. お問い合わせは下記アドレスまでメール下さい。

* * * JSKの活動状況紹介 * * *

[2000年]

1. 2000.9.1(金)JSK発会式及び披露パーティ
9月より本格的に活動開始
2. 2000.11.18(土)第8回会合、高浜市「赤鬼どん」見学
3. 2000.12.18(月)第9回会合

[2001年]

1. 2001.1.29(月)第10回会合—3ウエイタンカのジョイント部アイデア出し
2. 2001.1.31(水)古居さんの設計製作した炭焼き管理棟見学
(愛知県下山村)



炭焼き管理棟

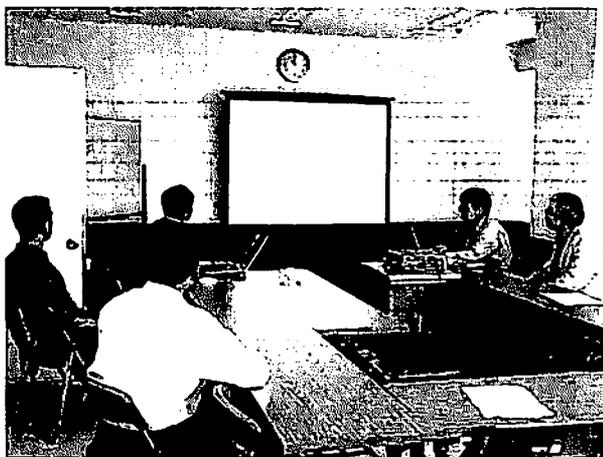
*この管理棟はポスト&ビーム式のログハウスで、設計・施工等全て古居さんの技で完成させた。隣接する炭焼き窯では人のノウハウによる製炭方法を標準化する技術を試行中。

3. 2001.2.10(土)第11回定例会合—3ウエイタンカのジョイント部各種アイデア評価、試作案決定
4. 2001.3.10(土)第12回定例会合—簡易エレベーター案検討&建築廃材加工法検討
5. 2001.4.6(金)第13回 新入会員歓迎会&年間活動計画案検討
6. 2001.4.7(土)第14回定例会合—3ウエイタンカ試作品確認、簡易エレベーター案評価&絞込み、二つ折り担架現状調査
7. 2001.5.19(土)第15回定例会合—家庭用階段昇降自助具案、検討
8. 2001.5.27(日)第16回 炭焼き体験講習会 講習会風景は[こちら](#)をご覧ください
9. 2001.7.7(土)第17回定例会合—1・2ウエイ担架試作品最終審査会
10. 2001.10.6(土)第19回定例会合—風力発電機調査、鶴野co.講演リハーサル
11. 2001.11.3(土)第20回 鶴野co.講演会(企業に求められる人材)
12. 2001.11.15(土)第21回 「豊田市長と語ろう」交流会参加
13. 2001.11.17(土)第22回定例会合—風力発電機への取り組み方討議
14. 2001.12.1(土)第23回定例会合—風力発電機への取り組み方討議、古居co.過去の風力発電機製作結果報告。

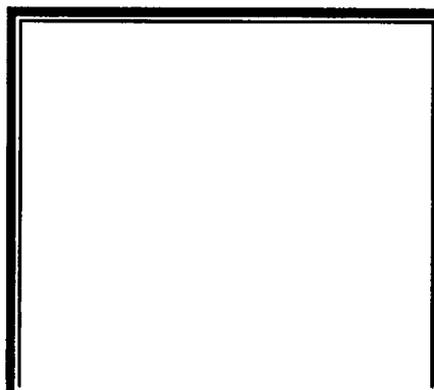
[2002年]

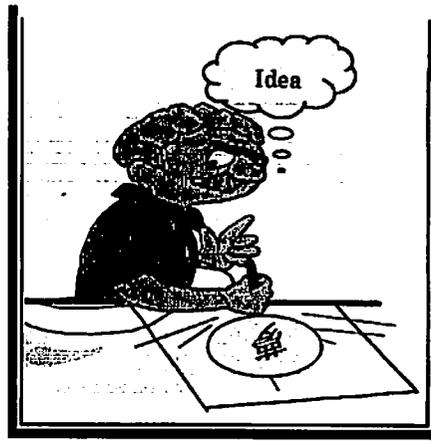
1. 2002.1.12(土)第24回定例会合—02年度方針検討、前田社長中国視察講演
2. 2002.2.2(土)第25回定例会合—02年度方針検討・決定、風力発電機検討
3. 2002.3.2(土)第26回定例会合—ニュービジネスモデルの紹介
4. 2002.4.6(土)第27回定例会合—NHK今井彰氏講演ビデオ鑑賞、「今日本産業に何が必要か」(作成資料説明)、アイデア商品(自転車用リヤカート)検討
5. 2002.4.6(土)第28回定例会合—技術顧問派遣依頼検討、中部大学設立記念フォーラム参加報告、NPO資格取得について検討、
6. 2002.6.1(土)第29回定例会合—一般向けPC(パワーポイント)講習会実施・参加者:6名、技術顧問派遣状況報告&討議、アイデア新製品発表&検討
定例会合終了後、新入会員歓迎親睦会

** PC(パワーポイント)講習会風景 **



7. 2002.6.22(土)第2回炭焼き体験講習会(下山:炭焼きの里)―炭作品は後程アップします。
8. 2002.7.6(土)第30回7月度定例会合―9月→11月JSK新製品展示会について検討、JSK PRスライド作成検討、アイデア新製品発表&検討
9. 2002.8.3(土)第31回8月度定例会合―JSK新製品展示会は11月→12月13.14.15日に変更、指導会社状況報告(ISO14001取得準備)、炭焼き結果報告、展示会展示品候補選定、アイデア新製品報告(3点)
10. 2002.9.7(土)第32回9月度定例会合―JSK新製品展示会開催期間短縮(12/13.14.15→12/14.15)、事務局より展示品候補品の途中経過報告―更に追加作業続ける、名古屋南部鉄工業協同組合参加会社(2社)より開発品アイデア支援要請の内容説明・検討―別途アイデアを纏めて提案することに決定、指導会社状況報告(ISO14001取得準備・他)、アイデア・新製品報告(折込広告ラック、車利用の乾燥機、小型炭焼き窯、安全リヤーカー、安息角測定器、炭製品)
11. 2002.9.20(金)名古屋南部鉄工業協同組合との技術交流会及び講演会への講師派遣(3名)
12. 2002.10.5(土)第33回10月度定例会合―事務局より南部鉄工講演会状況報告、発明くふう展出品作品の特許提出の件打ち合わせ、南部鉄工共同組合参加会社(1社)自社製品(2点)の転用利用開発支援要請の説明・検討、指導会社状況報告(ISO14001取得準備)、12月度展示会・講演会の件最終案確定、アイデア・新製品報告(簡易型炭焼き窯、持ち運び水力発電、津波避けカプセル、良根苗ポット)、9月度受託のアイデア支援案の纏め結果説明
13. 2002.11.9(土)第34回11月度定例会合―発明とくふう展への出展報告(中部弁理士賞受賞)出品作品の特許提出済、南部鉄工共同組合参加会社(1社)自社製品(2点)の転用利用開発支援アイデア出し状況報告、12月度展示会・講演会の件最終案確定
14. 2002.11.30(土)第35回12月度定例会合の前だし―12月度展示会・講演会展示品の事前確認及び合評会、
15. 2002.12/14・15(土・日)―JSK作品展示会・講演会「こんにちはJSKです」開催、同打ち上げ・反省会実施





ごゆっくりご覧いただけただでしょうか。
ここをクリックして
ご意見ご感想、お問い合わせ等いただけると幸いです。

管理人HPへ

次のページへ

平成 18 年度 経済産業省《高専等を活用した中小企業人材育成》委託事業

「豊田地域の自動車部品製造における中小企業の若手技術者育成プログラム」

受講者募集



【 開 講 講 座 】

講 座 名	開 講 期 間	申 込 締 切 日
①「匠の技術から学ぶものづくり」 【水曜日】 18:00～20:00 (10回)	平成 18 年 9 月 13 日 ～11 月 15 日	平成 18 年 8 月 28 日(月)
②「製造技術者のための基礎設計技術」 【水曜日】 18:00～20:00 (10回)	平成 18 年 11 月 22 日 ～平成 19 年 2 月 7 日	平成 18 年 11 月 6 日(月)
③「製造技術者のためのデジタル技術」 【火曜日】 18:00～20:00 (10回)	平成 18 年 10 月 10 日 ～12 月 12 日	平成 18 年 9 月 25 日(月)
④「技術者の素養を磨くスキルアップ講座」 【土曜日】 9:30～11:30 (10回)	平成 18 年 10 月 21 日 ～平成 19 年 1 月 20 日	平成 18 年 10 月 2 日(月)

※ 募集人数：各講座 20 名（定員になり次第締め切ります。）

複数の講座を受講していただいても結構です。

管理団体：豊田商工会議所

実施機関：独立行政法人国立高等専門学校機構

豊田工業高等専門学校

「豊田地域の自動車部品製造における中小企業の若手技術者育成プログラム」

研修講座受講要項

■ 《事業概要》

中小企業製造現場の若手技術者・技能者を主な対象とした人材育成プログラムです。講義に加え実験・実習などの実技と共に、グループ討論・企業研修などを織り込み、受講者が身をもって体験しながら学ぶことができるプログラムを目指しています。

■ 《受講対象者》

中小企業製造現場の若手・初学技術者・技能者、技術者を目指している従業員
専門知識の幅（機械系技術者でデジタル技術など）を広げたい技術者

■ 《募集人数》

各講座とも 20 名

■ 《受講料》

無料（ただし、各講座とも全期間ご参加いただきます。）

なお、協力機関への交通費、実習・実験等に係る保険費用は自己負担です。



■ 《研修会場》

各講座とも、「豊田高専地域共同テクノセンター」で実施します。

（ただし、特別講演、企業研修、技術研修を除く。）

（1）講座研修会場：

豊田高専 地域共同テクノセンター（〒471-8525 豊田市栄生町 2-1）

TEL: (0565) 36-5941（橋本）、FAX: (0565) 36-5930

（2）特別講演会場：

豊田商工会議所（〒471-8506 豊田市小坂本町 1-25）

TEL: (0565) 32-4594（鷺見）、FAX: (0565) 34-1777

（3）企業研修会場：

（株）デンソー技研センター（〒446-8507 安城市高棚町新道 1）

（株）デンソー 高棚製作所（〒446-8507 安城市高棚町新道 1）

TEL: (0566) 73-2612（村田）、FAX: (0566) 73-2965

（4）技術研修会場：

愛知県産業技術研究所（〒448-0003 刈谷市一ツ木町西新割）

TEL: (0566) 24-1841（高須）、FAX: (0566) 22-8033

■ 《受講修了》

受講修了者（出席率 70%以上）には、受講者及び派遣企業に「修了証書」を授与します。

また、優秀者には「優秀証書」を授与します。

講座①

「匠の技術から学ぶものづくり」
 —ものづくりのための機械加工・計測の基礎—

受講者募集
 (申込締切: 8月28日)

〔講座概要〕 ものづくりの基本である機械加工、計測技術などを基礎から学び、応用力のある技術者をめざしていく。ここでは、匠の伝統技術である「からくり」を通して技術の本質を学び、機械加工、測定技術などの基礎、創意工夫の大切さ、製造現場に欠かせない設備保全などについて学ぶ。

〔研修のねらい〕 伝承技術が製造技術に活かされていることはよく知られている。本講座では「からくり」の伝統技能から、ものづくりの基本である機械加工、測定技術について実習を交えながら習得していく。また、伝承技術に込められた職人気質を学び、技術者としての創造力を高める。

〔受講対象者〕 製造現場技術者・技能者(初学者)、技術系以外出身現場従業員(技術者としての育成)

〔会場〕 豊田高専 地域共同テクノセンター (豊田市栄生町2-1)

〔開講日時〕 【水曜日】 18:00~20:00

〔講座内容〕

開講日	講義・実習内容	講師
第1回 9月13日(水)	1. ものづくり伝承技術 ①山車からくり、江戸からくり ②からくりの機構	豊田高専 末松 良一
第2回 9月20日(水)	(企業研修) 〔研修先: デンソー技研センター〕 【※ 時間が変わります。】 (研修: 14:00~16:00)	デンソー技研センター 村田 武久
第3回 9月27日(水)	2. 部品製造における機械加工の基礎 機械加工現場における基本的事項 (安全、メンテナンス等)	デンソー技研センター 三輪 修
第4回 10月4日(水)	(実習) 加工基本実習 旋盤加工等の基礎実習 [ものづくりセンター]	デンソー技研センター 山下 和夫
第5回 10月11日(水)	3. 機械加工の基礎(1) ①機械加工一般 ②切削の基礎	オークマ 稲垣 浩
第6回 10月18日(水)	機械加工の基礎(2) ③精密仕上げ ④研削、超精密加工	オークマ 稲垣 浩
第7回 10月25日(水)	(実験) 加工基礎実験 切削抵抗の測定、NC, MC [ものづくりセンター]	豊田高専 中島 正貴
第8回 11月1日(水)	4. 計測の基礎 ①光、視覚センサ (動物の視覚に学ぶ) ②各種測定法の原理	豊田高専 末松 良一 洞口 巖
第9回 11月8日(水)	(実習) 測定実習 ①測定基礎実習、② 三次元測定機 [テクノセンター]	豊田高専 洞口 巖
第10回 11月15日(水)	5. 品質管理・保全 ①品質管理 ②設備保全	デンソー技研センター 天木 勇 荒川 昭治

〔特記事項〕
 ・ただし、企業研修日、9月20日(水)は、14:00~16:00です。
 ・達成度確認テスト・アンケートを実施する。
 ・実習等における保険は、受講者負担とする。

講座②

「製造技術者のための基礎設計技術」

受講者募集
 (申込締切:11月6日)

〔講座概要〕 製造技術者に必須の機械設計の基礎について、機械図面の見方、製図の基礎、JIS規格、機械要素などの基礎事項を講義と演習を通して学ぶ。また、設計における創意工夫、制御技術の組み入れなどの基礎的事項についても理解を深め、幅広い知識を持った技術者を目指していく。

〔研修のねらい〕 機械図面を学んでいない製造現場技術者、学んだ内容を定着させたい技術者などを対象に機械図面の作成、JISに基づく部品の構造図面の作成、設計の基になる基礎的知識について学び、CAD製図のための基礎と読図技術を習得する。

〔受講対象者〕 製造現場技術者・技能者(初学者)、技術系以外出身現場従業員(技術者としての育成)

〔会場〕 豊田高専 地域共同テクノセンター (豊田市栄生町2-1)

〔開講日時〕 【水曜日】 18:00～20:00

〔講座内容〕

開講日	講義・実習内容	講師
第1回 11月22日(水)	1. 機械製図の基礎(1) 機械製図の規格、図面の表し方、JIS規格 (演習) 投影法(第三角法)	愛知工業大学 岩永 弘之
第2回 11月29日(水)	機械製図の基礎(2) 図面の表示法(寸法の表し方など)、機械要素の基礎 (演習) 基礎製図	愛知工業大学 岩永 弘之
第3回 12月6日(水)	機械製図の基礎(3) 機械要素(ねじ、歯車、軸受け等) (演習) 豆ジャッキ(測定、スケッチ)	豊田高専 山口 健二
第4回 12月13日(水)	機械製図の基礎(4) 寸法公差とはめあい (演習) 豆ジャッキの部品図(スケッチ)	豊田高専 山口 健二
第5回 12月20日(水)	機械製図の基礎(5) シリンダの機能と役割	小島プレス工業 河合 優
第6回 1月10日(水)	機械製図の基礎(6) (演習) シリンダの部品図	小島プレス工業 河合 優
第7回 1月17日(水)	(技術研修) 〔研修先:愛知県産業技術研究所〕 【※時間が変わります。】 (研修:14:00～16:00)	愛知県産業技術研究所 大西 保志
第8回 1月24日(水)	2. 生産・製造設備 生産・製造設備の要素と機能 検査装置・診断の仕方	デンソー技研センター 水谷 武治
第9回 1月31日(水)	3. 機械制御の基礎と応用 制御技術の変遷 機械制御の実際	豊田高専 末松 良一
第10回 2月7日(水)	(企業研修) 〔研修先:デンソー高棚製作所、デンソー技研センター〕 【※時間が変わります。】 (研修:13:30～16:00)	デンソー高棚製作所 デンソー技研センター 村田 武久

- 〔特記事項〕
- ・ただし、技術研修日、1月17日(水)は、14:00～16:00です。
企業研修日、2月7日(水)は、13:30～16:00です。
 - ・達成度確認テスト・アンケートを実施する。
 - ・実習等における保険は、受講者負担とする。

講座 ③

「製造技術者のためのデジタル技術」

受講者募集
 (申込締切 9月25日)

〔講座概要〕 機械系製造技術者にとって、コンピュータを利用した付加価値の高いシステムを設計・制作することは不可避である。このために必要となるデジタル技術、電気・電子回路の基礎、センサを含むコンピュータの入力インターフェース、アクチュエータなどの駆動技術を含むコンピュータの出力インターフェースなどの基礎を講義と実験を通して学ぶ。

〔研修のねらい〕 コンピュータを利用した付加価値の高いシステムを設計・製作しようとしたときに必要となる知識を、特に機械系技術者など、電気や情報、コンピュータを専門としない製造技術者に対して、実験などを通してこれらの基礎的事項を習得する。

〔受講対象者〕 製造現場技術者・技能者、技術系以外出身現場従業員(技術者としての育成)

〔会場〕 豊田高専 地域共同テクノセンター (豊田市栄生町2-1)

〔開講日時〕 【火曜日】 18:00~20:00

〔講座内容〕

開講日	講義・実習内容	講師
第1回 10月10日(火)	1. 電気回路の基礎(1) 電源、電圧、電流、オームの法則 (実験) オームの法則、キルヒホッフの法則の実験	豊田高専 後田 澄夫
第2回 10月17日(火)	電気回路の基礎(2) 抵抗、コンデンサ、インダクタンス (実験) 直流電源とRC回路	豊田高専 後田 澄夫
第3回 10月24日(火)	2. 電気-機械変換 磁力と電流の相互作用、モータの構造 (実験) 電磁力、モータの特性	豊田高専 後田 澄夫
第4回 10月31日(火)	3. 電子回路の基礎(1) 半導体とダイオード、スイッチの直列・並列回路 (実験) 出力・入力抵抗の測定、ダイオードの電圧電流特性	豊田高専 松田 文夫
第5回 11月7日(火)	電子回路の基礎(2) オペアンプ、増幅作用、作動回路 (実験) オペアンプ回路の製作、増幅回路実験	豊田高専 松田 文夫
第6回 11月14日(火)	4. デジタル制御 基本演算回路、論理回路、記憶素子 (実験) シーケンス制御、プログラム制御	豊田高専 仲野 巧
第7回 11月21日(火)	5. コンピュータの構造 コンピュータの校正、演算回路、メモリ回路 (実験) ロジックトレーサーによる動作確認実験	豊田高専 仲野 巧
第8回 11月28日(火)	6. 組み込みコンピュータ(1) 組み込みコンピュータ、PICの構造、ポート制御回路 (実験) LED点灯回路、スイッチ入力と計数回路	中京大学 伊藤 誠
第9回 12月5日(火)	組み込みコンピュータ(2) アナログ入力とAD変換、明るさセンサー (実験) 明るさセンサーのAD変換実験	中京大学 伊藤 誠
第10回 12月12日(火)	(企業研修) 〔研修先：デンソー技研センター〕 【※時間が変わります。】 (研修：14:00~16:00)	デンソー技研センター 村田 武久

〔特記事項〕

- ・ただし、企業研修日、12月12日(火)は、14:00~16:00です。
- ・達成度確認テスト・アンケートを実施する。
- ・実習等における保険は、受講者負担とする。

講座④

「技術者の素養を磨くスキルアップ講座」

受講者募集
 (申込締切: 10月2日)

〔講座概要〕 技術者は、技術者個人だけでなく組織の一員として、社会との関わり、プレゼンテーション、ディスカッションを通じたコミュニケーションスキルやディベート、コンセンサス形成のスキル、技術者としての基本素養、技術者倫理などについて企業の技術士を講師として、事例に基づいた課題について討論しながら学ぶ。

〔研修のねらい〕 このプログラムでは、「技術士を中心とした技術者」が講師の主体となって行う。また、講義に加えて、「プレゼンテーション、討論」を積極的に取り入れることにより、コミュニケーションスキルやディベート、コンセンサスのスキルを育成する。

〔受講対象者〕 製造現場技術者・技能者、技術系以外出身の現場従業員(技術者としての育成)

〔会場〕 豊田高専 地域共同テクノセンター (豊田市栄生町2-1)

〔開講日時〕 【土曜日】 9:30～11:30

〔講座内容〕

開講日	講義・実習内容	講師
第1回 10月21日(土)	1. コミュニケーション ①コミュニケーションの基礎概念、仕組み ②ロールプレイによるコミュニケーションの実習	愛知学泉大学 武藤 宣道
第2回 10月28日(土)	③非言語と言語コミュニケーション ④問題発見の伝え方と解決の仕方 ⑤ITネットでのコミュニケーション	愛知学泉大学 武藤 宣道
第3回 11月11日(土)	プレゼンテーション ①プレゼンテーション技術 ②文章表現、言語発表能力とコミュニケーション	愛知学泉大学 武藤 宣道
第4回 11月18日(土)	2. 技術者の責任と義務(1) ①技術とは何か ②安心・安全と技術	大同工業大学 田中 秀和
第5回 11月25日(土)	(特別講演) 「リスクマネジメントと危機管理」 【※ 会場が変わります。】 【会場：豊田商工会議所】	大同工業大学 澤岡 昭
第6回 12月2日(土)	技術者の責任と義務(2) ③社会と技術 ④環境と技術	日本技術士会 比屋根 均
第7回 12月9日(土)	3. 地球と人にやさしい製品・設備開発(1) ①「希望を与えるモノづくり」 【※ 会場が変わります。】 【会場：豊田商工会議所】	福祉工房あいち 加藤 源重
第8回 12月16日(土)	地球と人にやさしい製品・設備開発(2) ②「温故知新のモノ創り」 【※ 会場が変わります。】 【会場：豊田商工会議所】	アイシンAW 池田 重晴
第9回 1月13日(土)	地球と人にやさしい製品・設備開発(3) ③「創造的技術開発」 【※ 会場が変わります。】 【会場：豊田商工会議所】	デンソー技研センター 今枝 誠
第10回 1月20日(土)	4. 製造技術者のための知的財産権 「知的財産(特許)の知識」 日本弁理士会	日本弁理士会

〔特記事項〕 ・達成度確認テスト・アンケートを実施する。

・実習等における保険は、受講者負担とする。

※ 特別講義 第5, 7, 8, 9回は、受講者参加企業の関係者の聴講も歓迎します。
 (希望者は、受講者を通して事前にお申し込み下さい。定員70名です。)

《 開 講 講 座 》

講 座 名	概 要	開 講 日
①『匠の技術から学ぶものづくり（機械加工・計測の基礎）』	ものづくりの基本である機械加工、計測技術などの基礎、設備保全について学ぶとともに匠の技から技術者としての耐えまざる努力、創意工夫の大切さを学ぶ。	【水曜日】18:00～20:00（10回） 平成18年9月13日（水） ～11月15日（水） ただし、9月20日（水）は、14:00～16:00（企業研修）です。
②『製造技術者のための基礎設計技術』	製造技術者に必須の機械設計の基礎、JIS規格の知識、機械要素、機械制御などを基礎から学び、実験・実習を通して理解を深め、幅広い知識を持った技術者を目指していく。	【水曜日】18:00～20:00（10回） 平成18年11月22日（水） ～平成19年2月7日（水） ただし、1月17日（水）は、14:00～16:00（技術研修）、2月7日（水）は、13:30～16:00（企業研修）です。
③『製造技術者のためのデジタル技術』	製造の要であるデジタル技術を、電気・電子回路の基礎、組み込みコンピュータ、制御技術などの基礎を学び、実験を通して定着させ、技術者としての幅を広げる。	【火曜日】18:00～20:00（10回） 平成18年10月10日（火） ～12月12日（火） ただし、12月12日（火）は、14:00～16:00（企業研修）です。
④『技術者の素養を磨くスキルアップ講座』	技術者は、組織の一員として社会との関わり、コミュニケーションスキルとともに技術者としての基本素養、技術者倫理など企業の技術士から実例に基づいて討論しながら学ぶ。	【土曜日】9:30～11:30（10回） 平成18年10月21日（水） ～平成19年1月20日（水） ただし、特別講演（11月25日、12月9日、12月16日、1月13日）は、豊田商工会議所です。

★ 各講座とも10回20コマ（1回120分）です。

★ 研修会場は、豊田高専地域共同テクノセンターです。（外部研修を除く。）

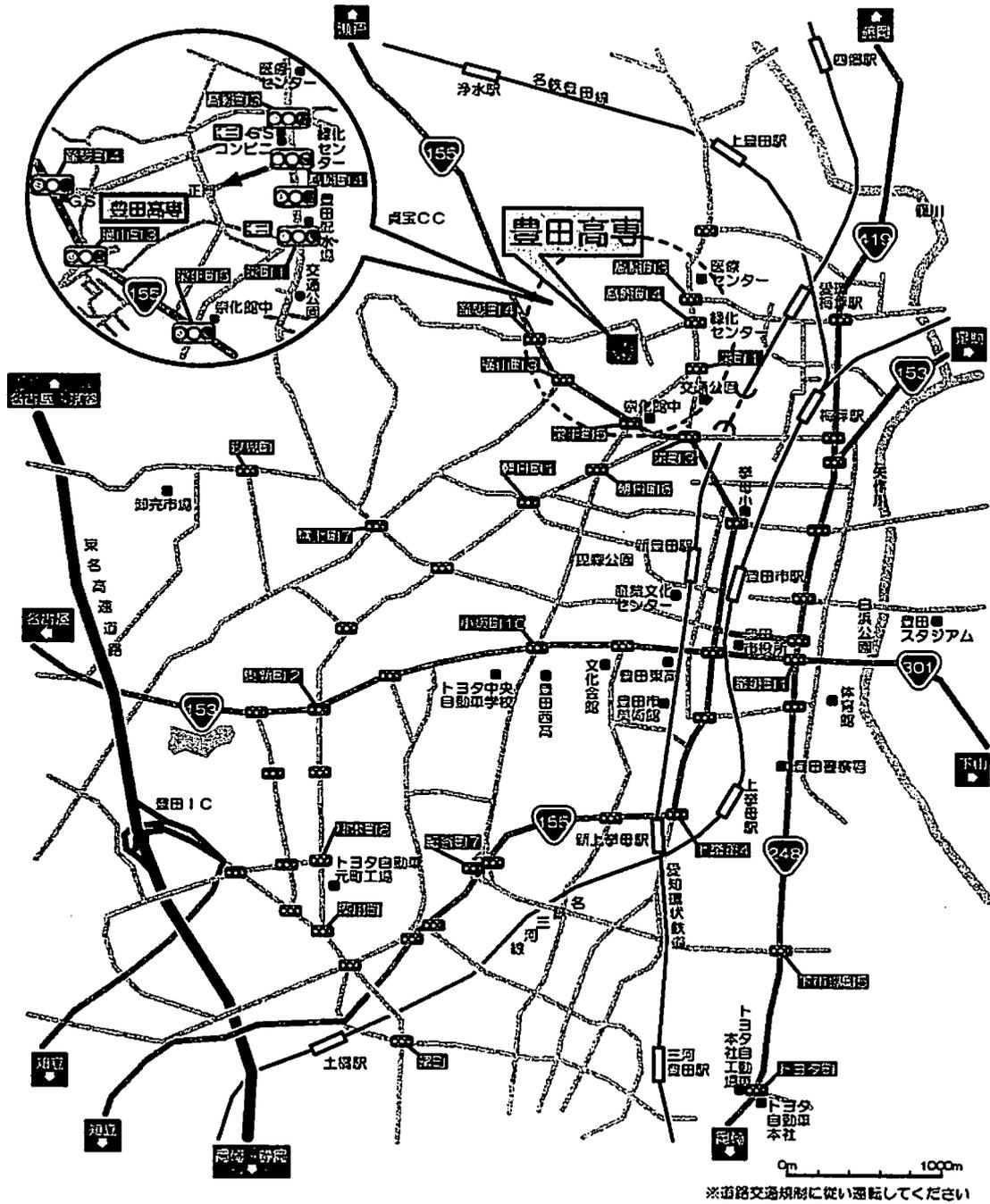
■ 《事業実施・協力機関》

〔管理団体〕 豊田商工会議所

〔実施機関〕 (独)国立高等専門学校機構 豊田工業高等専門学校

〔協力機関〕 愛知県、豊田市、愛知県産業技術研究所、(株)デンソー技研センター、小島プレス工業(株)、大豊工業(株)、(株)協豊製作所、(協)豊田市鉄工会、栄光路会、異業種交流会、日本技術士会中部支部、愛知工業大学、愛知学泉大学、大同工業大学、中京大学

豊田高専周辺道路マップ



■ 《お問合せ先》

(1) 豊田商工会議所 産業振興部 (〒471-8506 豊田市小坂本町 1-25)

TEL: 0565-32-4594 (篤見)、FAX: 0565-34-1777、E-mail: info@toyota.or.jp

(2) 豊田工業高等専門学校 地域共同テクノセンター (〒471-8525 豊田市栄生町 2-1)

TEL: 0565-36-5941 (橋本)、FAX: 0565-36-5930

「豊田地域における自動車部品製造における中小企業の若手技術者育成プログラム」

受講申込書

申込み: FAX 0565-34-1777 豊田商工会議所 鷺見 宛

■ 受講講座 (受講希望講座に○を付けてください。)

受講講座	講座名	開講期間	申込締切日
	①「匠の技術から学ぶものづくり」 【水曜日】 18:00～20:00 (10回)	平成18年9月13日 ～11月15日	平成18年 8月28日(月)
	②「製造技術者のための基礎設計技術」 【水曜日】 18:00～20:00 (10回)	平成18年11月22日 ～平成19年 2月 7日	平成18年11月 6日(月)
	③「製造技術者のためのデジタル技術」 【火曜日】 18:00～20:00 (10回)	平成18年10月10日 ～12月12日	平成18年 9月25日(月)
	④「技術者の素養を磨くスキルアップ講座」 【土曜日】 9:30～11:30 (10回)	平成18年10月21日 ～平成19年 1月20日	平成18年10月 2日(月)

※ 募集人数は、各講座とも20名 (定員になり次第締め切ります。)
複数の講座を受講していただいて結構です。

■ 受講申込み

企業名				
所在地	〒			
	TEL:	FAX:		
代表者名	印			
受講者	フリガナ	年齢	歳	
	氏名			
	所属 職務内容			
	連絡先	〒		
		TEL:	FAX:	
E-mail:				

■ お問い合わせ先

- 豊田商工会議所 産業振興部
〒471-8506 豊田市小坂本町1-25
TEL: 0565-32-4594 (鷺見)、 FAX: 0565-34-1777、 E-mail: info@toyota.or.jp
- 豊田工業高等専門学校 地域共同テクノセンター
〒471-8525 豊田市栄生町2-1
TEL: 0565-36-5941 (橋本)、 FAX: 0565-36-5930 E-mail: mhashi@toyota-ct.ac.jp